

わかやま 和歌山を創る新聞

Vol.209
2019.4.5

SDGs 国連・持続可能な開発目標
を知らう バックナンバー集

2017年に連載しました、SDGs「国連・持続可能な開発目標を知らう」の連載記事をバックナンバー集としてまとめました。各種教材としてご利用下さい。
「わかやま」バックナンバー掲載ページ http://www.wnc.jp/wakatsuku/ から PDF で入手できます。



13年の歴史に幕…「わかやまの底力・市民提案実施事業」

和歌山市が2005年からNPO・ボランティア団体からの企画提案を受け付け、優れた企画に補助金を支給する「わかやまの底力・市民提案実施事業」が、2018年度実施事業分をもって終了することになりました。これまで13年もの間、様々な事業を生み出してきた「底力事業」を振り返ります。



みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

- 全肉祭in和歌山城桜まつり
和歌山城の桜まつりに合わせてロングラン開催中！肉だけではなく魚介類や農産物などを盛り込んだ様々な肉料理が集結します。
日時 4月7日(日)まで11:00～21:00
場所 和歌山城砂の丸広場
内容 肉料理・飲み物などの屋台、フリーマーケット、ファイアーパフォーマンスなど
入場料 無料
主催 Gi-FACTORY
備考 詳細はFacebookページをご覧ください (https://www.facebook.com/gpresents)

●第2回 i love きのくに
障害を持つ方も、健常者の方も一緒に楽しめるお祭り。
日時 4月6日(土) 10:00～17:00
場所 和歌山城西の丸広場
内容 お得やおしゃれがいっぱいのマーケット 出店や歌や踊り、ゲーム大会等
入場料 無料
主催 一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会 (073-488-5243)

●おどるんや春祭り
2会場でのべ74チームが演舞を披露します。
日時 4月7日(日) 11:00～16:00
場所 和歌山城西の丸広場・砂の丸広場
参加費 無料
問い合わせ NPO 紀州お祭りプロジェクト (073-426-4424)

●ワルツ体験会
講師先生とマンツーマン形式の、ワルツ・タンゴを基本から始める体験会。まったく初めての方でも安心して参加いただけます。
日時 4月6日(土) 13:30～14:30
場所 和歌山ビッグ愛6階レッスンルーム
参加費 1,000円(申込み必要)
問い合わせ・申込み 和歌山ビッグ愛 (073-435-5200)

【本コーナーについて】
和歌山県内の様々なイベント情報が集積しているポータルサイト「わかやまイベントボード」から、お役立ちイベントや、幅広く楽しめるイベントなどの情報をピックアップしてご紹介しています。
ぜひ、ブックマークしてくださいね。

「できることからすぐする部門」採択事業一覧

Table with columns for year (2005-2018) and project details. Projects include: 元気に歳をとろう! シニア生活情報紙「J.B.Press」発行事業, 情報化社会を生きぬく子どもたちへ メディアリテラシーを遊ぼう!, あそびで生き生きまちづくり事業, 自然エネルギー市民共同発電事業, コラボネットよりあいらははじめよう!, 育てよう、やさしい心と明るいひまわり, 清掃活動から考える環境共生事業, 海遊塾事業, 市民企画立案型オープンカフェ事業, 生きがい倶楽部案内サービス事業, プラクリ丁に「飾り傘」ぶらくる事業, 紀州和歌山子ども語り部育成事業, 歌・踊りから広がる福祉的効果によるまちづくり, 「エコ観光Walking、エコ休憩所」企画, 「J.B.Press」発行及び「和歌山西国三十三ヶ所めぐり」ガイドブック作成事業, 内川をきれいにしようキャンペーン事業, Touch the Art アーティストステイイン 和歌の浦アート・キューブ, 防災力の向上を目指す、避難所体験事業, 素敵なババになろう! ババの子育て応援事業, 「はじめの歩、日本一の「協働のしくみ」づくりへ」, 環境共生を考えた住民参加型の清掃活動事業, 世界一安心なまちづくり事業 子どもを育て「CAP親(大人)のためのワークショップ」, わらべ歌、絵本、昔話を子育てに地域社会に密着した防災活動を展開し、住民の生命と財産を守るための取り組み, 体環学習 体で感じて環境を学ぼう, ライトアップ突撃隊!, 移動型街づくりカフェ・拠点整備事業, ババとつくるう! キッズアートクッキング, タ暮れジャズ&クラシック 文化フリートーク, 和歌山の城下町観光地図を作成する, 高津子山を桜の山に, おとと映像のアートイベント事業, 転勤・転入者の暮らしを支える@和歌山, ひとりて悩まないで! ママババラインわかやま, わかやまクラシック・プロムナード, 発達障害児の放課後支援教室事業, 心ひびきあう子育てしよう! 父親の子育て参画推進事業, 和歌浦地区 安心・安全まちづくり事業, かまやまコロニー, 第2回わかやまクラシック・プロムナード事業, まち子どもライブラリー, 「絵本ぐるぐるプロジェクト」絵本によるつながりづくりでまちのにぎわい創出, 障害のある子どもへのサポーター育成事業, 和歌山名所劇場プロジェクト「和歌山劇場」, 不登校・ひきこもりの子どもと青年の体験活動事業, 花で元気いきいきまちづくり, 第3回わかやまクラシック・プロムナード事業, 紀州和歌山発見伝 起の巻 和歌山城ウォーキング 歴史クイズラリー, さをりて行く地域のつながり, 和歌山市における公共交通利用促進事業, エイブルアートで優いまちづくりプロジェクト, 「小梅日記」を活用した「城下町和歌山」再発見事業, 観光ガイド語り部の常駐拡大と「地域活性化」への挑戦事業, 和歌山歴史的建造物の映像化, 子育てママもほっこり ママと乳幼児のクラシックコンサート, ババスイツをオンにしよう! ババのための育児講座とネットワーク作り, ロボットカフェ・ジュニア, DIM (Do It Myself) じぶ組み立てプロジェクト, 演劇で学ぼう inわかやま 防災編, 竹林整備と竹スピーカー作り, アートな交流, 片男波LIVE2011夏わかやまあそぶとこ計画, みんなで育む「障害者アート活動」, わかやま お城クラシック, 小児科病棟に笑顔を届けるホップ&アートプレゼント, 学校訪問アート・ワークショップ「新聞紙でつくる生きものたち」, 車駕之古址古墳等の協働運営と活用事業, 『小梅日記』の絵本作成事業, 観光客へのおもてなしと市民と共に和歌山市の歴史・文化の再発見, わかやま ウェークエンドフィーバー, 雑貨衆・沙也可で街おこし事業, 和歌山歴史的建造物映像化, プロから学んでイクメン宣言。家事も育児もババママで共同・共感しよう。, お笑い福祉士養成講座, わかやまのめりえ, お城再建55フェスタ, 父と子の「わかやま地産地消 親子魚料理教室」, お城でいろいろ芸術体験 お城で寺子屋「お城子屋?」へGO GO!, Night of Light 夜の美術展, 地元産業をみなおそう かつこい職人・産業写真展事業, 海に遊び、海に学ぶ、海辺の教室プロジェクト, 「つながり子育て」子育て世代を応援し隊, 若者が働きたいと思える街づくり事業, 市堀川の民間活用を促すリノベーションまちづくりプロジェクト, 走れ! 芸術列車～A-train (アート・トレイン) で行こう～, 紀州忍術「正忍記」で和歌山の活性化, 子どものための伝統音楽の鑑賞と和楽器の体験, 日韓交流に向けて「沙也可」朗読劇公演事業, 子どもを支える「伴走者」として、保護者も教師も円卓トーク, わかやま「夜市」, 映像による地域づくり講座, 暮らしの心地よいつて何? ～子どもを見守る大人の家事・育児参加の仕組みづくり～, インターネットおよびSNSを活用した授産製品の販売促進事業, 親と子のペレレント・トレーニング事業, 名草戸野伝説を伝承しよう, 「シニア市民体操」1万人をめざして



団塊世代の「地域デビュー」を応援する事業の成果報告

「協働」の視点を重視するように
底力事業と並行して和歌山市NPO・ボランティア推進課(当時)は「行政と市民との協働」の推進に向けた取り組みを進めます。市民公益活動団体と行政の協働指針や「和歌山市協働推進計画」など、今後の地域づくりを行政だけではなく、

「協働」の視点を重視するように
そのなかで「底力事業」は、採択された事業を、企画した団体が単独で実施するのではなく、おこなう事業に、関係する市担当課との連携・協働を進めることとなりました。また、事業の中間報告や最終の成果報告の際に、団体と市担当課が互いに事業を振り返る試み

「底力事業」ではおよそ130事業が展開され、今なお継続する事業も13年間続けられた。そのなかで「底力事業」は、採択された事業を、企画した団体が単独で実施するのではなく、おこなう事業に、関係する市担当課との連携・協働を進めることとなりました。また、事業の中間報告や最終の成果報告の際に、団体と市担当課が互いに事業を振り返る試み

「翌年度」も見据えたユニークな制度
2000年代に入り、全国的にNPOやボランティア団体の活動がクローズアップされ、活動を支援する補助金事業が各地の自治体で運用されるようになりました。和歌山市では05年から「わかやまの底力・市民提案実施事業」を開始しました。当初から、当年度に

実施する「できることからすぐする部門」と、当年度は事業の企画立案に専念し、実施は翌年度とする「翌年度に実施したい部門」の2つの部門が設定されました。単年度予算主義を前提とする自治体の事業において、はじめから翌年度の実施を念頭に企画を募集するというのは当時としては極めて珍しいケース。「すぐする部門」

は補助額が最高50万円だったのに対し、「翌年度部門」は補助額が最高150万円と比較的高額だったことも話題となりました。また、審査は第1次書類審査と、第2次プレゼンテーション審査にわかれ、プレゼンテーション審査は当初から公開で行われたのも大きなポイントです。初回はJR和歌山駅前「わかちか広場」でプレゼンテーション審査が行われていま



「お城の動物園」の活性化を図る事業で開催されたシンポジウム

れましたが、これをきっかけに現在も継続している事業がありま。なかでも子育て支援に関する事業や文化・観光振興に関する事業には、なんらかの形で今も続いている事業が多く、行政とNPO等の「協働のインキュベーション(孵化器)」としての機能を果たしたといえます。またこれをきっかけに行政の担当部署が独自に事業

化したものもあり、民間ならではの気付き・創意工夫が行政を動かした、という事例もあります。底力事業自体は終了しましたが、今後は、和歌山市NPO・ボランティアサロンが改組して今年4月に発足した「和歌山市地域フロンティアセンター」がNPO・ボランティア団体だけではなく、まちづくりや商店街活性化に関わる団体、和歌

「底力事業」の成果を活かしながら、和歌山市内に立地していたりこれから開設される各大学に所属する学生団体等、地域に所在する多彩な団体同士、また行政と民間団体の連携を進める拠点を担うこととなります。また、いずれは、「底力事業」のような資金的な支援事業の展開も改めて検討していきたいとのこと。

「わかやまの底力・市民提案実施事業のこれまでの実績については和歌山市のウェブサイト (http://www.city.wakayama.wakayama.jp/) のページ番号「1020137」からご覧いただけます。(志場久起)

「翌年度に実施したい部門」採択事業一覧

Table with columns for year (2005-2013) and project details. Projects include: よみがえり時代の開拓者!!! 団塊パワーで地域再生, 雑貨孫市で街おこし事業, 子育て応援フェスタ広げよう! ババ・ママすくすくのびネットワークのWA! 和歌山公園動物園「協働」による活性化プロジェクトわかやまフランスパーク, 感じて育む小さな心, 和みの歌・山ほど! 歌で和歌山・町おこし, 「おととあそぶ からだであそぶ」コンサートとワークショップ, Touch the Art 親子でわくわく感動体験, 大笑いとのさま寄席&落語茶屋, 和歌山(Wakayama)・感動(Can do)・山東(Sun do)プロジェクト, 親子で自給自足体験! 食育プロジェクト, 和歌山市におけるモビリティ・マネジメント事業, 親子で自給自足体験! 食育&菜の花プロジェクト, 科学体験プログラム ロケットとロボットを親子で学ぼう, 里山保育と手仕事の会 自主保育応援プロジェクト, であいば ピクニック

2015年度以降の採択事業 (同年よりすべて、採択の翌年度実施に変更)

Table with columns for year (2016-2018) and project details. Projects include: わかやま建築まちづくり事業, 若者が働きたいと思える街づくり事業, 市堀川の民間活用を促すリノベーションまちづくりプロジェクト, 走れ! 芸術列車～A-train (アート・トレイン) で行こう～, 紀州忍術「正忍記」で和歌山の活性化, 子どものための伝統音楽の鑑賞と和楽器の体験, 日韓交流に向けて「沙也可」朗読劇公演事業, 子どもを支える「伴走者」として、保護者も教師も円卓トーク, わかやま「夜市」, 映像による地域づくり講座, 暮らしの心地よいつて何? ～子どもを見守る大人の家事・育児参加の仕組みづくり～, インターネットおよびSNSを活用した授産製品の販売促進事業, 親と子のペレレント・トレーニング事業, 名草戸野伝説を伝承しよう, 「シニア市民体操」1万人をめざして